

遊びの中でうながされる発達について

発達度

発達度1	目安 0歳～3歳	出生～就園前
発達度2	目安 4歳～6歳	就園～就学前
発達度3	目安 7歳～9歳	小学校低学年
それ以上	目安10歳～18歳	小学校高学年以上

遊びの種類 ブロック遊び

	発達度1	発達度2	発達度3	それ以上
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で適切な時間帯で遊べる事を感じる。 ・箱から出してみる。 ・正しい遊び方を知る(投げたり、食べたりしない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい遊び方が実践できる。 ・箱にしまえる。声掛けに反応して片付けができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な場所、適切な時間で遊びこむことができる。 ・遊び場の展開と片付けが声掛けやアラームだけでできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な場所で展開し、小さな子も交えて一緒に遊べる。 ・正しい遊び方が教えられる。
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・持ったり、離したりができる。 ・組まれているブロックを外す。 ・座位を保持して遊びに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利き手で組み上げたり、壊したりができ、逆の手でそれを支えられる。 ・倒れないように工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・壊れそうな箇所を認識しながら、両手を使って作りたいものを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より高度な作品が作れる。あえてアンバランスさを計算にいった組み立てを完成させるためにそれに合わせた、体勢が維持でき、両手が使える。
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形の違いがわかる。キャラクター等がわかる。 ・お友達が組み上げるのを見て、壊す。真似する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色の違いや凹凸の違いが分かる。 ・見よう見まねで作ってみる。できた物を〇〇だと見立てられる。 ・作品にあった世界観が広げられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作りたい物や作りたい世界がある程度想像した上でそれに合わせた物ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・想像力を膨らませより現実的な世界観がその場で展開できる。 ・周囲の状況を見て、アドバイスやサポートができる。
言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・問いかけに表情で応じたり、Yes, Noが表現できる。 ・ちょうだい、おねがい等がハンドサインで伝えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの話がわかる ・(仲間に)「いい」、「ちょうだい」、「ダメ」、「イヤダ」等が言える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「一緒に遊ぼう」「〇〇作ろう」友達を誘う言葉かけができ、大人がいなくても言葉のコミュニケーションで遊びを成立できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルがあっても譲歩できる言葉かけができる。 ・言葉が通じにくい子の思いを感じ取り、代弁したり、対応ができる。
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・お友達やスタッフがやっている様子を見て興味や関心を持ち、同じ場を楽しめる。 ・周囲に許容される範囲でブロックを使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達やスタッフと一緒に遊びたい気持ちや物が欲しい気持ちが芽生え、主張し合い、時にはトラブルになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己主張が強い時はトラブルになることもあるが、仲介すれば納得し、仲直りもできる。 ・また違う日に一緒に遊べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人の介入なしにトラブルが解決できる。また、回避するアイデアが提案できる。